

「(仮称) こども本の森」基本方針 (案)

さっぽろし れいわ ねんなつごろ かいかんよてい あたら こ む としよしせつ
札幌市では、令和8年夏頃に開館予定の新しい子ども向け図書施設、
「(仮称)こども本の森」をどのように運営するかを決めるための
「(仮称)こども本の森」基本方針 を作っています。
みな いけん さんこう よ かんが
皆様のご意見を参考にして、より良いものにしたいと考えていますので、
このパンフレットをよ読んで、き気づいたこと、かんが考えたことをおし教えてください。

ぼしゅう き かん 【募集期間】

れいわ ねん がつ にち れいわ ねん がつ にち
令和6年12月24日(火)～令和7年1月28日(火)

～大人の皆さまへ～

このパンフレットは「(仮称) こども本の森」基本方針(案)の策定に当たり、子どもたちの意見を聴くために作成したものです。ぜひ、お子さまと一緒に読んでください。

また、市役所や各区役所、まちづくりセンター、市立図書館などで、大人用の資料も配布していますので、あわせてご覧ください。

「(仮称)こども本の森」について

「(仮称)こども本の森」とは、建築家の安藤忠雄さんが、北海道大学の中に建築・寄附する子ども向け図書施設です。

札幌市は北海道大学と協力して、子どもが読書の楽しさを知ることができる施設にしていきます。

「こども本の森」とは？

安藤忠雄さんが、子どもに本を読んでもらうために全国で建築・寄附している図書施設です。



📖 こども本の森 中之島(大阪府)



📖 こども本の森 遠野(岩手県)



📖 こども本の森 神戸(兵庫県)



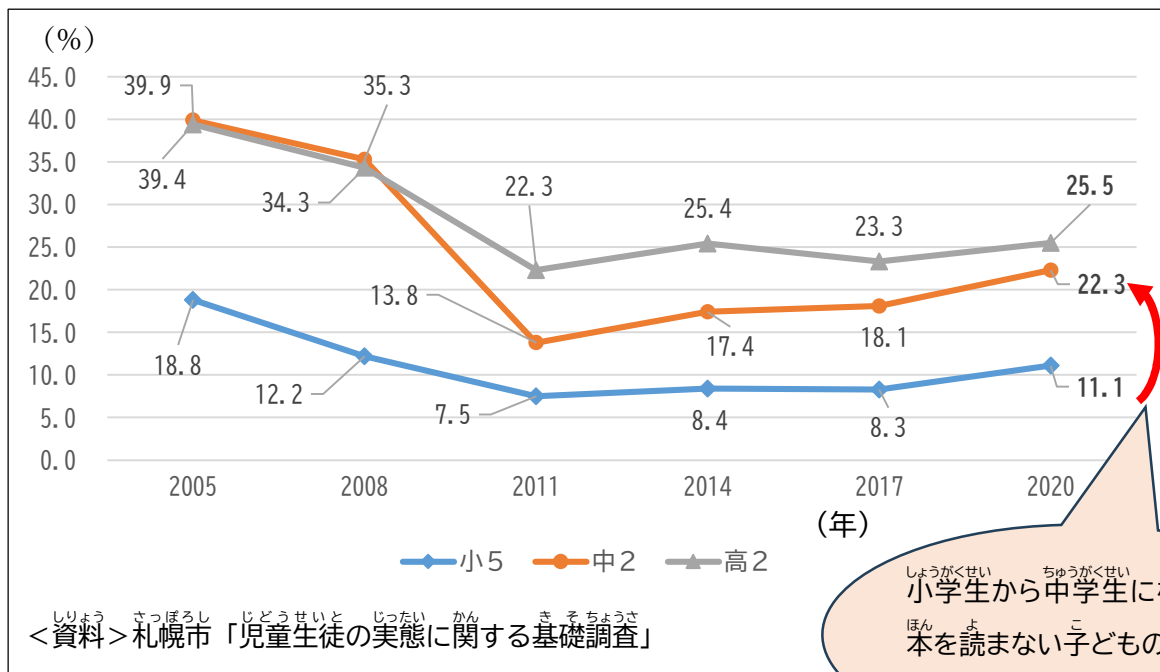
📖 こども本の森 熊本(熊本県)

施設の位置付けについて

札幌市では、「皆さんは1か月にどのくらい本を読みますか？」というアンケートをとりました。そこでは、小学生まではたくさん本を読んでいても、中学生になるとあまり本を読まなくなってしまうという結果が出ています。

このように、学年が進むにつれて、子どもが読書から離れてしまうことが課題になっています。

図 1 か月で読んだ本が0冊の子どもの割合



小学生から中学生になると、本を読まない子どもの割合が大きく増加。

札幌市がとった「読書活動についてのアンケート調査」では、小・中学生のみなさんが本を読まなかった理由で、「読みたいと思う本がない」が一番高くなっています。



札幌市は「(仮称)こども本の森」を、小学生・中学生の皆さんに、読書の楽しさをもっと知ってもらうための、新しい図書館にしていきます。

コンセプトについて

しょうちゅうこうこうせい ほっかいどうだいがく がくせい としょかん
小 中 高校生や北海道大学の学生などに、どんな図書館になってほしいか
はなし き しせつ き
お話を聞いて、施設のコンセプトを決めました。

「(仮称)こども本の森」に求められること

- あら きょうみ ひ だ ほん で あ
・新たな興味を引き出す本と出会う
- ほん で あ せいちょう
・本と出会うことによって成長する
- だいがく なか さまざま ぶんか ちしき ふ
・大学の中にあることで様々な文化や知識に触れられる
- こ おとな いっしょ まな あ
・子どもも大人も一緒に学び合う
- いろいろ す かた どうかんきょう
・色々な過ごし方のできる読書環境がある
- しぜんゆた かんきょう い
・自然豊かな環境を活かす



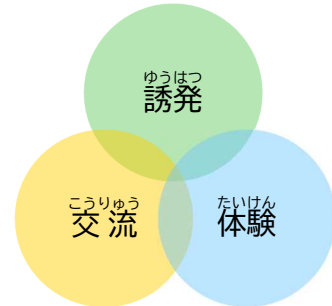
コンセプト

こどもに^ち知をひらく

「(仮称)こども本の森」は、大学の中にある子どものための図書館として、
そこにある知を子どもたちにひらくこと、また、本との出会いを通して知と
み ち とびら ち こ ほん で あ とお ち
未知の扉をひらくことで、新たな学びと創造の世界につなげます。

うんえいはいよう サービス・運営内容について

- ・新たな本との出会いを促す誘発機能
- ・様々な知や人とつながる交流機能
- ・空間や自然などを感じる体験機能



この3つの機能を柱として、北海道大学の中にあるという特徴も活かしたサービスを行います。

誘発

- ・新しい本との出会いを促すため、絵本、図鑑、外国語の本、大人が読む本などを、テーマに沿って選んで並べます。
- ・オリジナルの分類をつくり、北海道大学で研究していることにもつながるテーマを分かりやすく利用者に伝えます。
- ・「気が付いたら本を読んでいた」をもたらす環境をつくりまします。

交流

- ・子どもたちと大学、学生との交流を促し、学び合えるようにします。
- ・市立図書館、学校と連携し、児童生徒に向けたサービス向上に貢献します。

体験

- ・本を外に持ち出し、北海道大学の中の自然に囲まれて読書をする体験などを通して、また本が読みたくなる環境をつくりまします。
- ・北海道大学と協力して、イベントや関連する本の展示などをあわせて行う、「学びのプログラム」を検討します。

たとえば…

- ・ロケット打ち上げ実験
- ・虫と野菜の関係

蔵書(施設に置く本)について

約15,000冊を予定しています。

貸し出しはせず、いつ来ても読みたい本が読めるようにします。

しせつ 施設について

しせつ きほんじょうほう 施設の基本情報

めい しょう 名 称	かしょう ほん もり (仮称)こども本の森
かいがん 開館 よてい び 予定日	れいわ ねん ねん なつご 令和8年(2026年)夏頃
しよざい ち 所在地	さっぽろしきたくきた じょうにし ちやうめ 札幌市北区北8条西6丁目 (ほっかいどうだいがくこうない みなみもんふ きん (北海道大学構内 南門付近))



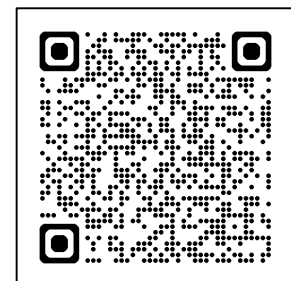
しせつ まわ ち ず
施設の周りの地図

「(仮称)こども本の森」をより良い施設にしていくため、
「こんな図書館になってほしい」、「こんな本やイベントがあ
れば行ってみたい」などの、皆さんからのご意見をお待ち
しています！

グーグルフォームから
意見が提出できます

(<https://forms.gle/8K4kBX9ZATkKsPS2A>)

こちら



ホームページはこちら

https://www.city.sapporo.jp/toshokan/kodomohonnomori_kihonhoushin_public-comment.html